

まちのわだい

鳥取県総合防災訓練

～町内でも訓練を行ないました～

鳥取県総合防災訓練は、本年が鳥取県西部地震から五年目の節目となることを踏まえ、防災関係機関の災害発生時の応急対策活動の検証と県民に対する防災意識の高揚を図ることを目的に五年前の地震の日と同日の十月十六日（木）に実施されました。

訓練は、鳥取県沖においてM7・4の地震が発生し、伯耆町内でも震度六弱を観測したと想定し、行なわれました。災害対策本部を立ち上げ、消防団に巡回等の警戒発令がなされました。その他、町内



ヘリによる救助訓練



赤十字奉仕団の炊き出し風景

三カ所で訓練を行ないました。上細見集落では、消防団が巡回し、住民の避難誘導を行ない、赤十字奉仕団による炊き出しが行なわれました。

焼杉集落では、土砂崩れが起きたことを想定し状況確認を消防団が行ないました。

総合スポーツ公園では、自衛隊のヘリによる救助訓練を行ないました。

この防災訓練で、五年前の地震の教訓を踏まえ、一人ひとりが災害に対する備えをしておく機会となればと思います。

すっかりきれいになりました

～シルバー人材センターの奉仕作業～

十月十五日（土）午前九時から、岸本体育館周辺と溝口武道館裏のコート周辺を、南部広域シルバー人材センター岸本支所・溝口支所の会員の皆さんが地域への感謝の気持ちを込め、草取りや草刈りなどを行ないました。

小雨が降り、足元や視界の悪い中、総勢七十名の会員の方が作業を分担し合い、大変手際良く、作業を進められていました。

作業前までは、草刈機で刈

るにも苦戦してしまうような大きな草がたくさん生えており、側溝は草やゴミで詰まり、アスファルトやセメントの間からも草が伸び、どこまできれいになるのだろうかと思いが思いましたが、そのうち軽トラクの荷台いっぱい刈り取った草が運び出され、周辺の草やゴミがすっかり取り除かれ、辺り一面見違えるほどきれいになりました。

シルバー人材センターの皆さんの奉仕作業により大変き

競走馬を間近に見て

～大山ヒルズ見学会～

十月十五日（土）、真野にある競走馬トレーニング施設「大山ヒルズ」で、施設見学会が開催されました。

見学会は、この町報ほうきで募集し、電話で申込み受付をしましたが、募集開始日に定員が埋まってしまっほどの人気でした。

当日は、ガーデンプレイスに集合し、町のバスで大山ヒルズに向かいました。見学会

は、施設の紹介、調教の見学、馬見せ等で、参加された皆さんは、普段見ることのできない競走馬の調教の様子に感動されていました。

*競走馬は大変デリケートな性質の馬で、音や気配に大変敏感なため、人や車の出入りは最小限に控えることになっています。そのため、大山ヒルズは、普段、関係者以外は入れません。



競走馬を間近で見せてもらいました



大きな草を刈り取りました

また、今後このような見学会を町で開催しますので、その際にはぜひお申込みください。